

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 摂津市千里丘1丁目新築工事	階数	地上15F
建設地	大阪府摂津市千里丘1丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	75人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	481㎡	作成者	(株)星羅建築事務所 永崎大統
建築面積	236㎡	確認日	2020年2月21日
延床面積	2,186㎡	確認者	(株)星羅建築事務所 永崎大統

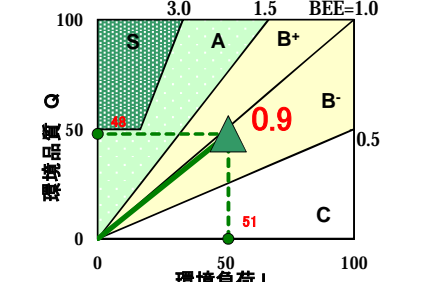


きは
除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

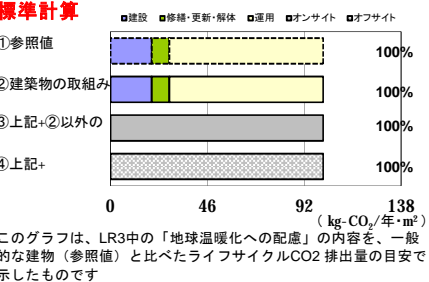
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

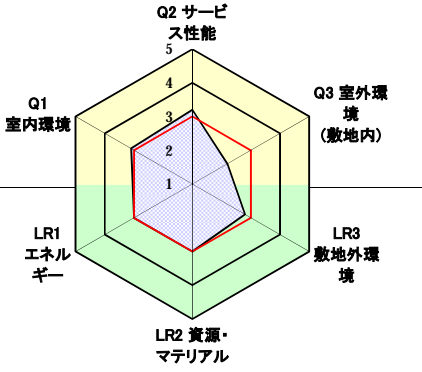
標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

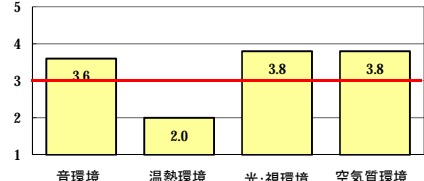
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



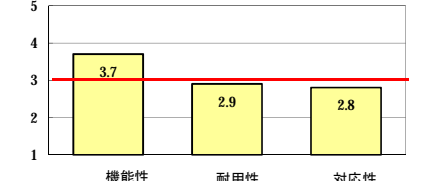
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

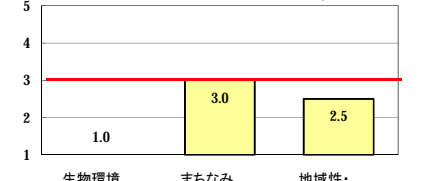
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1



Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

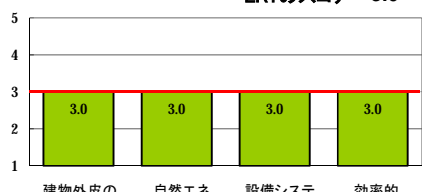


Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

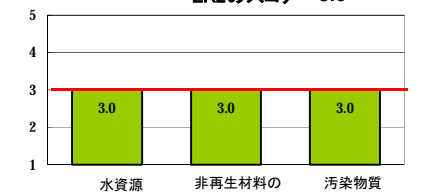


LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

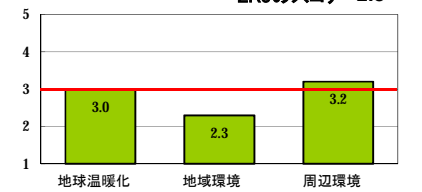
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0



LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8



3 設計上の配慮事項		
総合 外観はタイル貼とし重圧感を演出し、配色によりアクセントをつけた。	その他 特になし	
Q1 室内環境 化学汚染物質の抑制に配慮している。	Q2 サービス性能 給排水管の使用管材の耐久性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 共用部のエネルギー利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクル排出率に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0173

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)サムティ摂津市千里丘1丁目 新築工事					
		建設地	大阪府摂津市千里丘1丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減		★★★★★			3		
②	みどり・ヒート アイランド対策		★★★★★			2		
③	建物の断熱性		★★★★★			3		
④	エネルギー削減		★★★★★			3		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.0	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
先進的技術の導入			技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項								